

発言No.

12

受付No.

4

令和6年8月20日

14時39分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 中山間地域等直接支払制度について

① 中山間地の維持に成果を上げる同制度の交付金を得るには、地域・集落農家の皆さんが5年間、営農を続ける前提で協定を結ぶ必要がある。制度は2000年度から始まっているが市の状況を伺う。

② 来年度、第6期対策の協定が始まるが、全国的にも高齢化と人材不足で、取り組めない農家が増えれば耕作放棄地等も増え農業の衰退になる。第6期対策、移行時取り扱いは地域によって違うとを感じるが、地域別の対策について考えを伺う。

(2) 生ごみの堆肥化について

① 温暖化が進む中で、暮らし方を変えることで温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出を実質ゼロに抑えることができる。重要なのが生ごみの活用と、食品ロス削減であり、燃やせばコストも環境への負担もかかる。農業肥料高騰化の中、市を挙げて堆肥化を推進すれば農業負担軽減にもつながるが、市の考えを伺う。

(3) 改正食品衛生法の施行について

① 改正食品衛生法が6月から完全施行され、漬物の製造販売には、保健所による営業許可が必要となった。改正法に合わせて設備を整えるには、小規模な農家にとって負担が重く、製造を断念するケースもあると感じているが、市の状況を伺う。

② 地域の漬物を絶やさぬための対策について、市の考えを伺う。

2 危険木・支障木緊急除去事業について

- ① 危険木・支障木緊急除去事業については、平成 28 年から開始され地域からも非常にありがたい事業との声を聞いている。中山間地域においては、道路管理を行う上でも重要な事業と考えるが、各地域における執行状況を伺う。
- ② 危険木・支障木緊急除去事業の効果と課題を、市としてどのように評価しているかを伺う。
- ③ 現在、中山間地域振興枠でこの事業は実施されており、令和 7 年度で中山間地域振興枠も区切りの 5 年間を終えることになるが、令和 7 年度末の残高見込みを伺う。
- ④ 令和 8 年度以降の中山間地域振興枠の取り扱いについて伺う。

3 認知症行方不明者について

- ① 認知症やその疑いがあり、2023 年に全国の警察に届け出があった行方不明者が延べ 10,932 人に上がり前年から 330 人増え、12 年の統計開始以来、11 年連続で最多更新となったと報道があった。浜田市の認知症による行方不明者の状況を伺う。
- ② 浜田市は高齢化率も高く、今後認知症の方が増えると感じており、認知症早期発見体制が大事である。体制整備について市の考えを伺う。